

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	584	所属	上下水道部下水道管理課排水設備係				起案者	奥村智明
事業名	下水道接続促進事業						決裁者	小栗滋昭
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2735
事務事業の 分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input checked="" type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-2-1-2		予算科目	会計	下水道事業特別会計	
	第8次		4-2-2			款	05 下水道事業費	
						項	05 総務管理費	
						目	05 一般管理費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ			421
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市環境基本計画							
根拠法令	有	下水道法第10条(排水設備の設置等)						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始		平成 5 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				～になる			
	下水道に接続できる区域内の市民が				下水道に接続し、良好な生活環境の中で生活できるようになります。			
事務事業の内容 (手段)	新たに下水道の供用を開始した区域内の建物所有者へ、下水道接続の依頼文を送付し速やかな接続を図ります。また、下水道供用開始、3年目以降の未接続の建物所有者へ依頼文を送付し、併せて戸別訪問を行い接続を促進します。							
事務の内容	接続依頼文書の送付、戸別訪問による接続依頼							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	363	646	557	869
		需用費	241	510	493	774
		役務費	44	54	7	13
		委託料	63	74	42	67
		使用料及び賃借料	0	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	15	8	15	15
	②	人件費	2,268	2,268	2,268	1,701
		正規職員 (人)	0.36	0.36	0.36	0.27
		臨時職員人件費 (千円)				
	③	年間経費(①+②) (千円)	2,631	2,914	2,825	2,570
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	2,631	2,914	2,825	2,570
		国庫・県支出金 (千円)				
		受益者負担金 (千円)	2,562	2,903	2,814	2,559
		その他 (千円)	69	11	11	11
	⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
	未接続者へ接続促進文書の発送(2855件)	未接続者へ接続促進文書の発送(2987件)	未接続者へ接続促進文書の発送(2192件)	未接続者へ接続促進文書の発送(2200件)				
	未接続者へ戸別訪問し、接続促進の実施(678件)	未接続者へ戸別訪問し、接続促進の実施(511件)	未接続者へ戸別訪問し、接続促進の実施(475件)	未接続者へ戸別訪問し、接続促進の実施(550件)				
	指定工事店事務連絡会で接続促進を依頼(1回)	指定工事店事務連絡会で接続促進を依頼(1回)	指定工事店事務連絡会で接続促進を依頼(1回)	指定工事店事務連絡会で接続促進を依頼(1回)				
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	公共下水道の下水道水洗化人口	人	目標	122,000	124,000	126,000	132,000	
			実績	122,279	125,494	131,358		
	油ヶ淵流域の下水道水洗化人口	人	目標	34,000	34,800	35,700	37,800	
			実績	34,695	35,586	37,584		

Check【事業評価】

(1)「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <div style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> いいえ </div>	→	④「事業の必要性」の評価 <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> はい  <input checked="" type="checkbox"/> E 継続  <input type="checkbox"/> 該当しない  <input type="checkbox"/> はい </div>
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	→	
	④「事業の必要性」の評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止  <small>目標 年度</small> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価) </div>		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ  
Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 水洗化人口は着実に増加しています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 下水道接続促進活動を継続的に行っていますが、既設浄化槽の経過年数が少なかったり未接続者の経済状況もあり、急激に水洗化人口の増加を図ることは困難な状況です。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 下水道接続は水質汚濁の主な原因となる生活排水対策となり水質保全に大きく寄与しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 市民へ下水道接続の働きかけが事業の内容であり、市が直接実施すべき事業と考えられます。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 昨年度発送文書のサイズ及び印刷方法を見直し、コストを抑えました。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 今年度、地番図システムの改修を行い、未接続家屋抽出作業の省力化により事業実施の効率化を図りますが、それ以上は困難な状況です。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割		
		既存の事務事業		
	再編後の事務事業			
	(内容)			
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 他の自治体と同程度の事業規模と考えられます。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 当該事務の人件費は、下水道利用者の下水道使用料により賄われています。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 有                     <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合                          目標                      年度                     </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)                 </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 下水道法には、公共下水道の供用が開始された場合遅滞無く下水道に接続しなければならないとされていますが、明確な期限や罰則規定がありません。 下水道接続に伴う排水設備工事には多額の個人費用負担が必要となります。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 地道に接続依頼を継続し、下水道接続に関し市民の理解を得るよう努めます。 地番図システムの改修を行い、未接続家屋抽出作業の省力化により事業実施の効率化を図ります。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	整備した公共下水道を有効的なものとするため、継続して下水道接続促進を行い水洗化率の向上を図っていく必要があります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	586	所属	上下水道部 下水道管理課 経営係			起案者	小林 博史	
事業名	水洗便所改造融資幹旋事業(公共・特環)					決裁者	小栗 滋昭	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2733
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input checked="" type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-2-1-1		予算科目	会計	下水道事業特別会計		
	第8次	4-2-2			款	05	下水道事業費	
					項	05	総務管理費	
					目	10	維持管理費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		423	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画								
根拠法令	有	下水道法、安城市水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給に関する規則						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	平成 5 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				～になる			
	下水道への接続者が				融資幹旋制度を利用することにより、下水道への早期接続ができる			
事務事業の内容 (手段)	下水道供用開始後3年以内における下水道接続のための排水設備改造工事に対して、改造資金の融資あっせん及び利子補給を行います。							
事務の内容	申請書受付。金融機関への照会。融資あっせん決定通知。金融機関への融資依頼。利子補給。							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	126	116	100	157
		需用費				
		役務費	33	27	28	41
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金	93	89	72	116
		その他				
	②	人件費	441	315	315	315
		正規職員 (人)	0.07	0.05	0.05	0.05
		臨時職員人件費 (千円)				
	③	年間経費(①+②) (千円)	567	431	415	472
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	567	431	415	472
		国庫・県支出金 (千円)				
		受益者負担金 (千円)	567	431	415	472
		その他 (千円)				
		⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	地元説明会…9回	地元説明会…7回	地元説明会…6回	地元説明会…7回			
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	融資申請件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	7	9	3	
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

### (1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	<div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/> はい </div>	<div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;">④「事業の必要性」の評価</div> <div style="padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">必要性が高い</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 </p> <p>※2「改善の必要性」の評価へ</p> </div>
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	<div style="text-align: right;"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない </div>	
		<div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 該当する </div>		
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	<div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/> はい </div>	
④「事業の必要性」の評価		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 40%;"> <input type="checkbox"/> 廃止  <p style="text-align: center;">必要性が低い</p> <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価) </div> <div style="width: 50%; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 </div> <div style="display: flex; width: 100%;"> <div style="width: 30%;">目標</div> <div style="width: 70%;">年度</div> </div> </div> </div> </div>		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調    □ 不十分 目標(融資申請件数:年間10件)には達していないものの、本事業は融資あっせん及び利子補給により下水道接続世帯の増加を図り、水洗化率(下水道接続率)の向上に寄与しています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない    □ ある 本事業の説明パンフレットを地元説明会、窓口、ホームページなどにおいて、積極的に配布し周知を図ります。また、下水道未接続世帯(供用開始3年以内)に対する接続依頼通知に本事業の説明を掲載することを検討します。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い    □ 低い 総合計画に掲げる都市基盤(住環境)における「良好な水環境の実現」に貢献しています。また、環境基本計画に掲げる「水辺の環境保全」(生活排水の改善)に貢献しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能    □ 可能 申請者(市民)や金融機関との調整を行うなど、融資あっせん及び利子補給の事業内容から、市が直接行うべき事業であると考えます。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能    □ 可能 下水道接続世帯を増加させ、水洗化率(下水道接続率)の向上を図る本事業では、事業費(利子補給額)の削減は、接続世帯の減少につながります。ただし、利子の利率が下がった場合には、利子補給額の減少も期待されます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能    □ 可能 申請に対して、融資あっせん及び利子補給を行う事業であり、事業の効率化は図られています。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない    □ 統合    □ 分割		
		既存の事務事業 再編後の事務事業 (内容)		
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正    □ 過大    □ 過小 県内38市(全市)が本事業を実施しており、本市と同程度の基準を設定しているため、適正であると考えます。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある    ■ 適正    □ 過大    □ 過小 □ ない    □ 問題ない    □ 検討必要 本事業の事業費は、下水道利用者下水道使用料により賄われているため、適正であると考えます。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 有                       改善の必要性   <input type="checkbox"/> 無(現状維持)                 </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合                      目標                      年度                 </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 本事業の活用により、下水道接続世帯を増加させ、水洗化率(下水道接続率)の向上を図るため、本事業を積極的にPRし、広く周知を図ることが重要です。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 本事業の説明パンフレットを地元説明会、窓口、ホームページなどにおいて、積極的に配布し周知を図ります。また、下水道未接続世帯(供用開始3年以内)に対する接続依頼通知に本事業の説明を掲載することを検討します。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	下水道法において、下水道供用開始区域内の「くみ取り便所は3年以内に水洗便所に改善しなければならない」義務を課している一方で、資金調達が困難なため水洗化(下水道接続)を断念することがないよう、設けられている本事業の意義は大きいと考えられます。今後も本事業の積極的な周知・PRに努めます。			



平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	587	所属	上下水道部下水道管理課排水設備係				起案者	奥村智明
事業名	雨水貯留施設設置促進事業						決裁者	小栗滋昭
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2735
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input checked="" type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-2-1-2		予算科目	会計	下水道事業特別会計		
	第8次	11-5-1			款	05	下水道事業費	
					項	05	総務管理費	
					目	10	維持管理費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		423	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市環境基本計画							
根拠法令	有 安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱							
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始		平成 11 年度		終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				～になる			
	下水道に接続する市民が				雨水の流出抑制、利用等を図り、自然環境の保全等に寄与します。			
事務事業の内容 (手段)	災害に結びつく雨水の流出抑制と自然の恵みである雨水の有効利用と良好な水環境保全を図るため、下水道へ接続することにより不要となる浄化槽について、雨水貯留施設へ転用する工事費の一部を補助する事業です。							
事務の内容	浄化槽雨水貯留施設転用工事費補助金交付事務							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	1,125	1,225	375	2,100
		需用費	0	0	0	0
		役務費	0	0	0	0
		委託料	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	1,125	1,225	375	2,100
		その他	0	0	0	0
	②	人件費	1,575	1,575	1,575	1,134
		正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25	0.18
		臨時職員人件費 (千円)				
	③	年間経費(①+②) (千円)	2,700	2,800	1,950	3,234
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	2,700	2,800	1,950	3,234
		国庫・県支出金 (千円)	500	500	180	500
		受益者負担金 (千円)	2,200	2,300	1,770	2,734
		その他 (千円)	0	0	0	0
	⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	15件の申請に対し、1,125千円の補助金を交付し、約32㎡の雨水貯留容量を確保しました。	16件の申請に対し、1,225千円の補助金を交付し、約33㎡の雨水貯留容量を確保しました。	5件の申請に対し、375千円の補助金を交付し、約10㎡の雨水貯留容量を確保しました。	28件の申請を見込み目標としています。			
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	雨水貯留施設転用件数	件	目標	28	28	28	28
			実績	15	16	5	
			目標				
			実績				

## Check【事業評価】

### (1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
		<input type="checkbox"/> 該当する		
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止  <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>目標</span> <span>年度</span> </div> </div> </div> <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 近年、申請件数が目標に届いていませんが、着実に雨水の流出抑制に寄与しています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 災害の発生により災害時の雑用水として有効と注目されること、また、市民に雨水対策の重要性が再認識されることなどにより申請に結びつくことが考えられますが、現状では急激な申請増加は見込まれません。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 豪雨による水害を軽減させるため、雨水貯留施設の増強に貢献しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 補助金交付事業であるため、市が直営で実施すべき事業と判断されます。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 補助金交付事業であるため、事業費削減は不可能と判断されます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 補助金交付事業であるため、事業の効率化等は不可能と判断されます。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割		
		既存の事務事業		
再編後の事務事業				
		(内容)		
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 近隣市と補助水準は同程度です。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある ■ 適正 □ 過大 □ 過小 □ ない □ 問題ない □ 検討必要		
		当該事務の人件費は、下水道利用者の下水道使用料により賄われています。 雨水貯留施設改造工事費用の2/3が補助の上限であり、これ以外は受益者負担となっています。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 有  改善の必要性  <input type="checkbox"/> 無(現状維持)         </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合  <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>目標</span> <span>年度</span> </div> </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 市民に補助制度の幅広い周知を図る必要があります。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 下水道事業説明会等で市民に補助制度の周知を図ります。 指定工事店事務連絡会において、工事店にも補助制度の周知を図ります。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	豪雨による水害を軽減し雨水の有効活用に寄与するため、必要な事業と評価します。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	590	所属	上下水道部下水道管理課排水設備係				起案者	奥村智明
事業名	事業場排水管理事業						決裁者	小栗滋昭
事業区分	■	義務的	□	経常的	□	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2735
事務事業の 分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		3-2-1-3-2		予算科目	会計	下水道事業特別会計	
	第8次		4-2-2			款	05	下水道事業費
						項	05	総務管理費
						目	10	維持管理費
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		423	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市環境基本計画							
根拠法令	有	下水道法第12条の3・愛知県流域下水道維持管理要綱第17条						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託		委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成 5 年度			終期	平成 年度 ■ なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる			
	市民が				良好な環境のもと安心して生活できる。			
事務事業の内容 (手段)	公共用水域の水質及び下水道施設の保全のため、特定事業場等から排除された下水の水質検査を実施し、下水道排除基準に適合しないあるいは、その恐れがあるか否かを確認します。また、事業場に水質管理の重要性と下水道の役割を認識させ、より一層排水の水質管理を徹底させることにより下水道排除基準の違反を未然に防止します。							
事務の内容	特定事業場等の排水水質検査確認事務							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	2,764	1,350	2,336	6,642
		需用費	0	0	0	0
		役務費	0	0	0	0
		委託料	2,764	1,350	2,336	6,642
		使用料及び賃借料	0	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
	歳入	② 人件費	945	945	945	693
		正規職員 (人)	0.15	0.15	0.15	0.11
		臨時職員人件費 (千円)				
		③ 年間経費(①+②) (千円)	3,709	2,295	3,281	7,335
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	3,709	2,295	3,281	7,335
		国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0
		受益者負担金 (千円)	3,709	2,295	3,281	7,335
		その他 (千円)	0	0	0	0
		⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	対象28事業場の水質検査を実施	対象28事業場の水質検査を実施	対象30事業場の水質検査を実施	対象30事業場の水質検査を実施予定			
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	下水排除基準を超過した事業場	箇所	目標	0	0	0	0
			実績	9	3	9	
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

(1)「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	➡ ■ はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	➡ □ 該当しない	
		<input type="checkbox"/> 該当する		
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	➡	
④「事業の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止              目標 年度           </div> </div>		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ  
 Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 下水排除基準を超過した排水が確認されたため、事業場の指導監督を行い水質保全に努めています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 下水排除基準を超過した事業場を継続的に指導監督し、水質基準の重要性や除害施設の適切な管理を周知させていますが、下水排除基準を超過した事業場数を皆無にすることは困難な状況です。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 公共用水域の水質及び下水道施設の保全のために貢献しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 水質検査業務を民間企業に委託済みです。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 法令で定められた事業であり、また水質検査委託業務は一般競争入札にて委託者を決定しており、事業費削減は不可能と判断されます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 法令で定められた事業であり、事業の効率化等は不可能と判断されます。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割		
		既存の事務事業		
	再編後の事務事業			
	(内容)			
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 法令に基づき実施されており適正と判断されます。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある ■ 適正 □ 過大 □ 過小 □ ない □ 問題ない □ 検討必要 当該事務の人件費は、下水道利用者の下水道使用料により賄われています。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 有  改善の必要性  <input type="checkbox"/> 無(現状維持)         </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合  <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>目標</span> <span>年度</span> </div> </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 下水道排除基準を超過した排水を流出する事業場が毎年発生しています。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 継続した指導の結果、下水排除基準超過が多く発生していた事業所の除害施設が更新されることとなったため、基準超過件数の減少が期待できます。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	法令で定められた水質検査を行う事業であり、今後も継続して公共用水域の水質及び下水道施設の保全のために必要な事業です。		



平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	591	所属	上下水道部 下水道管理課 経営係			起案者	小林 博史	
事業名	受益者負担金前納報奨金事務					決裁者	小栗 滋昭	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2733
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input checked="" type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-2-1-1		予算科目	会計	下水道事業特別会計	
	第8次	4-2-2			款	05	下水道事業費
					項	10	下水道建設費
					目	05	下水道建設費
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		425
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当			
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	安城市下水道事業受益者負担金条例、安城市下水道事業受益者負担金条例施行規則					
議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	平成 4 年度	終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる			
	受益者負担金の納付者が			納付意欲の向上により、早期納付を促される。			
事務事業の内容 (手段)	受益者負担金の早期納付を促し、収納率を向上させ、下水道整備の促進を図るため、一括納付した納付者に対し、前納報奨金を交付します(納付者は前納報奨金を差し引いた額を納付します)。併せて、一括納付による未納者の抑制により、督促状の発送などの徴収事務のコストを削減します。						
事務の内容	一括納付した納付者の受益者負担金額に基づき、前納報奨金額を算定。 前納報奨金の公金振替(歳出→歳入)。						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	14,993	11,558	11,197	14,258
		需用費				
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
		その他	14,993	11,558	11,197	14,258
	歳入	② 人件費	819	630	630	630
		正規職員 (人)	0.13	0.1	0.1	0.1
		臨時職員人件費 (千円)				
		③ 年間経費(①+②) (千円)	15,812	12,188	11,827	14,888
		④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	15,812	12,188	11,827	14,888
	歳入	国庫・県支出金 (千円)				
		受益者負担金 (千円)				
		その他 (千円)	15,812	12,188	11,827	14,888
		⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	地元説明会…9回	地元説明会…7回	地元説明会…6回	地元説明会…7回			
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	受益者負担金の収納率(現年)	%	目標	96.0	96.0	96.0	96.0
			実績	97.7	97.7	98.1	
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

### (1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	<div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/> はい </div>	<div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">④「事業の必要性」の評価</div> <div style="padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">必要性が高い</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 </p> <p>※2「改善の必要性」の評価へ</p> </div>
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	<div style="text-align: right;"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない </div>	
		<div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 該当する </div>		
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	<div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/> はい </div>	
④「事業の必要性」の評価		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 40%;"> <input type="checkbox"/> 廃止  <p style="text-align: center;">必要性が低い</p> <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価) </div> <div style="width: 50%; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>目標</span> <span>年度</span> </div> </div> </div>		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 前納報奨金により一括納付が促進され、受益者負担金の収納率の向上が図られています。併せて、収納率の向上は未納件数を減少させるため、督促状の発送などの徴収事務のコストが削減されています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 前納報奨金により一括納付が促進され、受益者負担金の収納率は高い状態を維持しています。今後も、地元説明会やホームページにおいて、制度の積極的な周知・PRを図り、さらなる収納率向上を目指します。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 総合計画では、「良好な水環境の実現」のため、計画的な下水道整備を掲げており、前納報奨金による受益者負担金の早期確保は、下水道整備の促進に貢献しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 受益者負担金の早期納付を促すための前納報奨金を交付する事務であり、市が直接行うものであると考えます。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 下水道整備地区の面積によって受益者負担金は変動するため、その前納報奨金も増減します。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 受益者負担金に応じた前納報奨金を交付する事務であり、事業の効率化は図られています。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割		
		既存の事務事業		
	再編後の事務事業			
	(内容)			
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 県内のほとんどの市で実施されており、制度も平均的な水準となっています。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 □ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 ■ ない ■ 問題ない □ 検討必要 前納報奨金は一般会計繰入金で賄われていますが、平成25年度に実施した市民アンケートでは、87%の人が制度の存続を希望(肯定)しています。理由としては、「既に報奨金を受けた人と今後の整備地区の人との公平性のため」や「受益者負担金の早期収納に有効で下水道整備を促進するため」などでした。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 有  改善の必要性  <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)         </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合            目標年度         </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 受益者負担金の納付方法(一括納付・分割納付)は、納付者による選択となるため、前納報奨金の制度を理解しないまま、分割納付を選択しているケースがある可能性があります。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 今後も、地元説明会やホームページにおいて、制度の積極的な周知・PRを図り、受益者負担金の一括納付を促進し、早期収納及び収納率向上を目指します。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	前納報奨金は受益者負担金の早期収納に非常に有効であり、下水道整備の促進につながるものです。また、受益者負担金は土地に対して一度限りの賦課であるため、既に報奨金を受けた人と今後の整備地区の人との公平性を確保する必要があります。以上のことから、平成24・25年度における事業仕分けでの結果のとおり、制度を継続し、今後も、受益者負担金のさらなる収納率向上のため、制度の周知・PRを図っていきます。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	592	所属	上下水道部下水道管理課排水設備係				起案者	奥村智明
事業名	排水設備確認事業						決裁者	小栗滋昭
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2735
事務事業の 分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input checked="" type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-2-1-2		予算科目	会計	下水道事業特別会計	
	第8次		4-2-2			款	05	下水道事業費
						項	10	下水道建設費
						目	05	下水道建設費
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ			425
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市環境基本計画							
根拠法令	有	下水道法第10条(排水設備の設置等)						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託		委託先	民間企業				
実施期間	開始		平成 5 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる			
	下水道に接続する市民が				良好な生活環境の中で生活できるようになります。			
事務事業の内容 (手段)	地域に下水道が整備されても、生活排水等を公共下水道に流入させる排水設備が完備されなければ、下水道の役割が果たされません。公共下水道と一体的に迅速かつ的確に整備するため、排水設備の工事内容について、事前に法令等に適合しているかどうか確認し、公共ます等の設置工事を排水設備指定工事店に依頼して下水道本管への接続を行います。また、接続後に計画どおり施工され、雨水等の誤接続がないかどうか検査を行います。							
事務の内容	排水設備確認申請等の審査、公共ます等の設置工事、工事完了検査事務							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費 等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費 等推移	歳出	① 事業費 (千円)	187,378	224,228	185,643	200,046
		需用費	16	0	17	27
		役務費	0	0	0	19
		委託料	0	0	2,052	0
		使用料及び賃借料	11	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	187,351	224,228	183,574	200,000
	②	人件費	26,523	32,760	32,760	27,846
		正規職員 (人)	4.21	5.2	5.2	4.42
		臨時職員人件費 (千円)				
	③	年間経費(①+②) (千円)	213,901	256,988	218,403	227,892
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	213,901	256,988	218,403	227,892
		国庫・県支出金 (千円)				
		受益者負担金 (千円)	26,522	32,760	32,760	27,846
		その他 (千円)	187,379	224,228	185,643	200,046
	⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度計画	
	排水設備等確認申請 全検査件数1,512件	排水設備等確認申請 全検査件数1,534件		排水設備等確認申請 全検査件数1,275件		排水設備等確認申請 全検査予定件数1,615件	
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	公共下水道の下水道水洗化人口	人	目標	122,000	124,000	126,000	132,000
			実績	122,279	125,494	131,358	
	油ヶ淵流域の下水道水洗化人口	人	目標	34,000	34,800	35,700	37,800
			実績	34,695	35,586	37,584	

Check【事業評価】

(1)「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <div style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> いいえ </div>	→	④「事業の必要性」の評価 <div style="text-align: center;">                     必要性が高い  <input checked="" type="checkbox"/> E 継続                 </div> ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> いいえ </div>	→	
	④「事業の必要性」の評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 廃止                      必要性が低い                 </div> <div> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止                      目標 年度                 </div> </div> <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ  
 Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 水洗化人口は着実に増加しています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 公共下水道供用開始区域の拡張によって増加する排水設備等確認申請以上に、水洗化人口を急激に増加させることは困難な状況です。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 下水道接続は水質汚濁の主な原因となる生活排水対策となり水質保全に大きく寄与しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 公共ますと下水取付管は公共物であり、また、排水設備等確認申請は法令等で市長が行うことと定められているため市が直営で行っています。また工事請負で民間企業に委託済みです。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 事業費は工事請負費が大部分を占めており、構造等は基準で定められており資材は既に汎用品を用いているため事業費の削減は不可能と判断されます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 市民からの確認申請に基づく事務であり、事務の効率化・簡素化は困難と判断されます。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割		
		既存の事務事業		
	再編後の事務事業			
	(内容)			
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 近隣市と同程度のサービス水準となっています。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある ■ 適正 □ 過大 □ 過小 □ ない □ 問題ない □ 検討必要 公共ます及び取付管の設置は市負担ですが、排水設備は受益者である申請者負担です。		
「改善の必要性」の評価		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 有  改善の必要性  <input type="checkbox"/> 無(現状維持)         </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合  <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>目標</span> <span>年度</span> </div> </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 公共下水道の供用が開始された場合、排水設備等確認申請を行い遅滞無く下水道に接続しなければならぬと下水道法に定められていますが、明確な期限や罰則規定がありません。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 下水道接続促進事業により、下水道未接続者へ排水設備等確認申請を促し水洗化人口増加に努めます。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	整備した公共下水道を有効的なものとするため、継続して下水道接続促進を行い水洗化率の向上を図っていく必要があります。			



平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	597		所属	上下水道部下水道管理課排水設備係			起案者	奥村智明
事業名	農業集落排水排水設備確認事業						決裁者	小栗滋昭
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	0566-76-1111
							内線	2735
事務事業の 分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input checked="" type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-2-1-2		予算科目	会計	農業集落排水事業特別会計	
	第8次		4-2-2			款	05	農業集落排水事業費
						項	05	総務管理費
						目	10	維持管理費
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ			439
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市環境基本計画							
根拠法令	有	下水道法第10条(排水設備の設置等)						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託		委託先	民間企業				
実施期間	開始		平成 11 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				～になる			
	農業集落排水施設に接続する市民が				良好な生活環境の中で生活できるようになります。			
事務事業の内容 (手段)	地域に農業集落排水施設が整備されても、生活排水等を農業集落排水施設に流入させる排水設備が完備されなければ、その役割が果たされません。このため、排水設備の工事内容について、事前に法令等に適合しているかどうか確認し、公共ます等の設置工事を排水設備指定工事店に依頼して農業集落排水施設への接続を行います。また、接続後に計画どおり施工され、雨水等の誤接続がないかどうか検査を行います。							
事務の内容	排水設備確認申請等の審査、公共ます等の設置工事、工事完了検査事務							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

年間事業費等推移	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	3,962	5,057	1,238	4,000
		需用費	0	0	0	0
		役務費	0	0	0	0
		委託料	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	3,962	5,057	1,238	4,000
	②	人件費	189	189	189	63
		正規職員 (人)	0.03	0.03	0.03	0.01
		臨時職員人件費 (千円)				
	③	年間経費(①+②) (千円)	4,151	5,246	1,427	4,063
	歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	4,151	5,246	1,427	4,063
		国庫・県支出金 (千円)				
		受益者負担金 (千円)	842	1,397	800	65
		その他 (千円)	3,309	3,849	627	3,998
	⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	排水設備等確認申請 全検査件数16件	排水設備等確認申請 全検査件数22件	排水設備等確認申請 全検査件数17件	排水設備等確認申請 全検査予定件数20件			
成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	農業集落排水区域の下水道 水洗化人口	人	目標	1,870	1,870	1,870	1,951
			実績	1,862	1,850	1,931	
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

(1)「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与 の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か ↓ <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→ <input type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」 の評価  必要性が高い  <input checked="" type="checkbox"/> E 継続  ※2「改善の必要性」の 評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下して いる事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な 事業である ↓ <input type="checkbox"/> 該当する	→ <input checked="" type="checkbox"/> 該当 しない	
	③第8次総 合計画との 関連性	第8次総合計画に体系付けられているか ↓ <input type="checkbox"/> いいえ	→ <input type="checkbox"/> はい	
	④「事業の必要性」 の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止  <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止  <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止                          目標                      年度                     </div> </div>		
⑤事業を廃止した場合の 影響・廃止困難な理由な ど				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2)「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 </div> 農業集落排水区域内の水洗化率は99%に達しました。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある </div> 農業集落排水区域の未接続は残り7世帯20人となっていますが、既設浄化槽の経過年数が少なかったり未接続者の経済状況もあり排水設備等確認申請されず、水洗化人口を増加させることは困難な状況です。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い </div> 農業集落排水への接続は水質汚濁の主な原因となる生活排水対策となり水質保全に大きく寄与しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 </div> 公共ますと下水取付管は公共物であり、また、排水設備等確認申請は法令等で市長が行うことと定められているため市が直営で行っています。また工事請負で民間企業に委託済みです。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 </div> 事業費は工事請負費が大部分を占めており、構造等は基準で定められており資材は既に汎用品を用いているため事業費の削減は不可能と判断されます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 </div> 市民からの確認申請に基づく事務であり、事務の効率化・簡素化は困難と判断されます。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 </div>		
		既存の事務事業		
	再編後の事務事業			
		(内容)		
		削減額見込(概算)		千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 </div> 近隣市と同程度のサービス水準となっています。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 問題ない </div> <div> <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 検討必要 </div> <input type="checkbox"/> 過小 </div> 公共ます及び取付管の設置は市負担ではありますが、排水設備は受益者である申請者負担です。		
「改善の必要性」の評価		<div> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持) </div> <div> <div> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 </div> <div> 目標 年度 </div> </div>		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 残り7世帯の接続により農業集落排水区域の水洗化率が100%となります。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 農業集落排水未接続世帯への接続促進により、排水設備等確認申請を促し水洗化人口増加に努めます。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	整備した農業集落排水を有効的なものとするため、接続促進を行い水洗化率の向上を図っていく必要があります。			